

## 海外安全対策情報（リトアニア）

### 1 社会・治安情勢

2022 年中の犯罪発生件数は 45,710 件となっており、コロナ規制解除から人の往来が再開していますが、昨年の犯罪発生件数は微増（+7.5%）で在留邦人や邦人観光客を取り巻く環境は概ね安定しています。しかし、2022 年はコロナ規制解除後に観光客が増加したこともあり、外国人被害が昨年比で 2 倍近く増加している状況です。その多くは窃盗被害となっています。

日本とリトアニアを犯罪発生件数だけで比較すると、リトアニアの 2022 年の犯罪発生件数は（人口 10 万人あたり）は日本の約 3 倍となっており、十分な注意が必要です。特に、殺人、強盗、強姦等の凶悪犯罪の発生件数が日本と比較し、非常に多くなっています（殺人は約 4 倍、強盗は約 10 倍、強姦等は約 5 倍）。

### 2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

リトアニア内務省が発表した 2022 年度第 4 四半期（1 月～3 月）の犯罪発生件数統計によれば、総件数 11,761 件（前年同期比-1.4%）となっています。統計によると、性犯罪、薬物事案の増加が目立ちます。ビリニュス郡警察によるとトラブル事案の多くは、飲酒絡みとされています。外国人の被害件数は前年比+261.7%と約 2.5 倍近くの増加となっていますが、その多くは同国人グループ内による窃盗などが中心とのことです。窃盗も若干増加しており、観光地でも飲食店を中心に発生があることから注意してください。また、SMS 等を通じて金融機関職員や政府関係者を名乗り、キャッシュカードの PIN コードを聞き出す詐欺や前金詐欺（代金を支払ったが商品が届かない）の発生もあることから、ご注意ください。犯罪種別の内容、主要都市の犯罪件数及び外国人被害者数は以下のとおりです。

犯罪件数

	1～3 月	
	件数	前年同期比
総件数	11,761	-1.4%
殺人	16	-20.0%
傷害	25	+8.7%
性犯罪	51	+50.0%
窃盗	2,465	+5.9%
強盗	99	+11.2%
麻薬犯罪	1,011	+30.3%

外国人被害者数	293	+261.7%
---------	-----	---------

#### 主要都市別犯罪件数

	1～3月
ビリニュス	3,000
カウナス	1,191
クライペダ	693
シャウレイ	410
パネベージス	411
合計	5,705

#### 主要都市外国人被害者数

	1～3月
ビリニュス	144
カウナス	25
クライペダ	24
シャウレイ	8
パネベージス	3

### 3 過去の犯罪発生事例

- (1) ビリニュス市内及び観光地であるシャウレイにおいて、邦人観光客を対象としたスリ事件が発生しております。

3～4人組の男が邦人観光客に近付き、内1人が邦人観光客の目の前で目立つ行動をするなどをして気を引いている間、他の者がリュックやカバンから貴重品を抜き取るという手口や、邦人観光客が買い物の後、バッグ等に財布を入れるところを確認した後、すれ違う際等にバッグ等の中の財布を抜き取るという手口が用いられています。

貴重品を抜き出しにくいところに入れておくことや、不審な人物からは距離を取るなどの防犯対策をとることで、被害を防ぐことができます。

スリ被害は祭日等の雑踏においても多数発生しておりますので、同様の注意を払う必要があります。

- (2) ビリニュス駅及びバスターミナルでは、邦人観光客を対象とした置き引き事件が発生しております。

荷物から目を離した隙に荷物を持ち去るという手口ですので、荷物からは決して目を離すことのないよう、ご注意ください。